

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1272201136		
法人名	有限会社 ツェルン		
事業所名	グループホーム・オアシス		
所在地	千葉県柏市柏下218		
自己評価作成日	平成26年2月20日	評価結果市町村受理日	平成26年4月30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ACOPA
所在地	千葉県我孫子市本町3-7-10
訪問調査日	平成26年3月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

北柏駅より徒歩15分の便利な地にあり、大学病院や老人保健施設が隣接している為、緊急時には高度な医療の受診が可能である。また周辺には柏公園、ふるさと公園、文化会館なども近く、自然豊かで緑が多い為、晴天時に行っている散歩では四季の移り変わりを肌で感じる事ができる。建物は平屋建て全館バリアフリーの安全な設計になっており、約8畳の個室と日当たり充分な談話室、中庭からの光を取り入れた開放的な造りは、入居者及びご家族にも好評である。特色としては、夏季は毎日の入浴、三食手作りの食事には家庭菜園の無農薬野菜も利用している。また敬老会ではホーム内で演奏会や、家族懇親会を行うなど、家族参加の行事も行っている。行事の際は入居者にもお手伝い頂いて、スタッフと一緒に食事作りをしている。また、近年では看取りに向けた取り組みに力を入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

柏市では数少ない独立系のグループホームである。入居者の快適さを念頭にデザインされた、明るく開放的な建物は定評があり他のホームからの見学者も多い。今後の高齢社会におけるグループホームの意義や役割について考察し、入居者の心のケアに重点を置いた取り組みを始めている。住職による法話や臨床心理学の先生による対話等は利用者の平穏な生活の支えになっており家族からも喜ばれている。グループホーム連絡会を積極的に活用して行政との連携を強めるなど業界の発展にも貢献している。共用空間には笑顔や談笑が絶えず、実に穏やかな、理念に沿った生活を垣間見ることができた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念をスタッフ以外にも入居者や家族、お客様にも見える場所に掲示し、共有・意識するようにしている。また、年度初めの会議にスタッフ全員で理念を読み返し、確認している。	住職による法話会や臨床心理学の先生との対話を企画し、「おだやかな笑顔とより添え合える暮らしを私たちの心で応援します」という理念につなげようとしている。ホーム長が率先垂範で理念の共有を促している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 平成26年2月20日	散歩時に挨拶を交わしたり、農作物を頂く他、今年度から回覧板を回してもらえるようになり、町会の一員として参加できるようになった。今度町会行事にも声を掛けて頂ける予定なので、積極的に参加できれば良いと思う。	町内会には協賛会員として参加し、ホームの紹介や介護に関する話をするなど地域との関係強化に努めている。民生委員が積極的で、地域との橋渡し役をしてくれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	開かれたグループホームを目指し、電話での相談や突然の訪問による見学、相談にも快く対応している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年に3回行い、家族の代表者を初め民生委員さん、地域包括支援センターの職員の方にも忌憚りの無い意見を頂き、日々の業務に取り入れるように努めている。また、民生委員さんのご紹介により歌の会も実現した。	運営推進会議の議事録から、民生委員や家族から厳しいと同時に、ホームをよりよくしたいという思いからの意見が出され、それに対してホームが信念を持って応えている様子がうかがえる。提案が実践に移されているケースも多い。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日頃から連絡を取り、ご相談するように努めている。また市の連絡会を通じても顔を合わせる機会が多く、何でもご相談できる関係性を築けている。	グループホーム連絡会の役員や柏市介護サービス事業者連絡会の理事を務めるなど、市の担当者とはしっかりした連携が取れている。受け身ではなく、前向きな提言ができる関係が構築されている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関するマニュアルを設置している他、職員研修を行い周知を図っている。玄関の施錠は一部を除いて日中は極力行わないように努めている。	家族から車いすのベルト着用の依頼があった場合でも、基本的にしない方針を説明し、見守りに対応している。開放的な空間設計とも相俟って利用者は自由な生活を楽しめている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記同様、虐待防止に関するマニュアルを設置している他、職員研修を行い周知を図っている。また入職時に上記身体拘束廃止と虐待防止を基本としたケアの注意点等を確認し、施設理念と共に覚えてもらうよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在成年後見制度を利用している方もおり、随時ご相談を受けている。管理者を中心に成年後見制度について学ぶ機会をもっと持ちたいと思う。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には契約書の内容を1つずつ読み合わせて確認すると共に、ご家族の質問や疑問をお伺いして充分にご理解頂けるよう努めている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が来所された時に頂いた意見は毎月の会議で話し合い迅速に対応している他、外部評価時にアンケートで出された意見等は年間行事内の家族会においてご説明する機会を設けている。	家族も外部評価の内容を読んでおり、運営推進会議や家族会、あるいは日常の訪問時に遠慮なく意見を言っている。議論することで相互の信頼が深まっている。	ホームは開設11年目を迎えている。家族から出された、永続勤務職員の慰労に関する提言には前向きに対応されることを期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常的に管理者が中心となって意見や要望を聞いている他、月1回、全職員が参加する職員会議においても積極的に意見交換を行っている。	職員はホーム長や管理者となんでも言える関係ができています。ただ悩みを持つ職員に対しては臨床心理学の先生によるカウンセリングを取り入れたり、休暇を取りやすくする仕組みを検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務表を作成する際には職員の休日の希望を聞き、できる限り希望の休みが取れるように考慮している。また、有給休暇消化にも力を入れており、無理の無い勤務になるよう努めている。また、個人面談を行い、各自が向上心を持って働けるよう努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	市内の研修等に積極的に参加している他、ホーム内での研修も行っている。ケアの仕方やその時々問題となるものに対し、ケアの統一を図る為、研修・実践している。入職時には段階を経て独自のケア方法を覚えてもらえるよう工夫している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の連絡会で企画されるスタッフ交流研修会に参加し、他のホームの職員との意見交換する機会を設けている。管理者については他ホームの管理者同士で意見交換ができるよう配慮している。来年度市内のホームの交換見学会も企画している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアマネージャーを中心に本人の希望や要望を聞き取りし、初期段階でのケアに生かしている。初期は不安も多い為、コミュニケーションを重視しながら本人の言葉に耳を傾けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始以前の入居相談時、体験入居の段階からご家族の不安に思っている事や困っている事を聞き取り、安心してサービスを受けて頂ける様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご相談を受けた段階で詳しくお話を伺い、他のサービス利用を提案したり、また待機される場合は入居までに利用できるサービスやご家族向けの小冊子をお渡しするなど、柔軟な対応を心がけている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人ができる事、できそうな事を見極め、その方のレベルに合わせた家事などを一緒に行うように努めている。共に暮らす仲間と家族として信頼関係が築けるように支援している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には月に1度のお便りで近況や体調の変化を報告していると共に、特変時には小まめに連絡を取り、必要な場合には来所をお願いする等、介護者と家族との温度差の無いケアを目指している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	遠方から旧友が来所される事もあり、手紙や電話の取次ぎにも快く対応している。	ボランティアの方が畑や花壇の作業に訪れ顔なじみになり利用者も一緒に収穫の喜びを味わっている。本の好きな方達は毎週図書館に通い、帰りには手賀沼の散策もお馴染みになっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや合唱など、全員で楽しめる事を積極的に行い、その際にも気が合いそうな人同士に隣に座って頂くように配慮する事でスムーズに交流できるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後もホームに来所されたり、職員が訪問する事もあり、その後の相談にも対応している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中の何気ない会話からご本人の希望や意向を把握するように努めている他、場合によっては改めて聞き取りの時間を設けてお話を伺っている。聞き取りの内容は会議で検討され、ケアプランにも反映されている。	申込み時、本人、家族から身体状況、生活歴、暮らし方の希望を聴き、さらに2泊3日の体験入居は、ホームの和やかさに馴染み、入所当初の緊張を和らげている。日常の何気ない会話や仕草から本意を把握するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時にご家族に生活歴や暮らし方に関する事を書類に細かく記入して頂き、アセスメントしたものはスタッフ全員で共有している。ご本人の暮らし方を尊重しつつ、ホームでより良い生活が送れるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	特に初期段階では細かく記録をつける事を心がけており、その方の状態を把握するよう努めている。健康チェックは毎日欠かさずに行い、体調、レベルによっては食事時間等をずらす等個別対応をしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネージャーを中心にご本人、ご家族から聞き取り調査を行い、月に1度のケース検討会議においてスタッフ全員と意見交換をしながら介護計画を作成している。	ケース会議で本人の自立度を話し合いケアマネージャーを中心に介護計画が立てられている。変化に気付いた時は皆に諮り、方向性を見極めて計画を見直し、家族の同意を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録は日中は1時間ごとに記録しており、特変時には細かく記録した内容を申し送りしてスタッフ全員が共有している。状態を詳細に把握する事で介護計画の見直しにも活かされている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	加齢による身体の拘縮予防や怪我による術後の回復のために訪問マッサージを利用している方が数名いらっしゃる他、ターミナル期の対応の為にご家族のご要望で個別に訪問看護を利用する等、できる限り柔軟なサービス支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在、毎月1回法話会、紙芝居、囲碁のボランティアに来て頂いている他、定期的に園芸、歌のボランティア、地元交響楽団の演奏会へ参加したりと、生活とは別の充実した時間を過ごせるように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回、提携医による往診がある他、入所前からのかかりつけ医へ受診されている方や、急変時に救急でお願いしている病院、ご家族が希望された専門医への受診など柔軟に対応している。	受診や通院は本人家族の希望に応じ、安心されるよう努めている。提携医による月2回の往診が有る。専門医受診には家族が同行しているが日頃の生活、身体状況を説明し支援している。訪問歯科医の治療と歯科衛生士による口腔ケア、嚥下リハビリの指導も行われている。	歌を取り入れた「リハビリ体操」で皆さんの歌う声は大きくはっきりとしている。これからも季節の歌を歌うなど、楽しみながらのリアルオリエンテーションの取り組みに期待したい。
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に2回看護師が勤務しており、心身のチェックを行っている他気になる事をすぐに相談できる体制が整っている。また、ターミナル対応として個別契約している訪問看護師には緊急時の対応を確認するなど、随時相談に乗ってもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはこちらから介護サマリーを提出し、生活状況等を詳しくご説明している。また、退院時には今後の暮らし方やケアの注意点などの指示をもらっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人の状況に応じて、ご家族には今後ホームで看取りを希望するかどうかの話し合いを行い、段階を経て書面で緊急時の同意書を取り交わしている。また、必要に応じて個別に訪問看護を依頼している他、地元医療機関と登録患者制度を利用する等、緊急時に対応できるようになっている。	終末期をどのように迎えるかは本人、家族の願いと方向性を同じに、その都度話し合いが行われている。緊急時の同意書を取り交わしている。看取りを希望する方には訪問看護制度を支援し、緊急時には提携医療機関の登録患者制度による受入れ体制ができています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを作成し、職員に周知している他、会議時にケース対応の検討、研修を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を行っており、うち1回は炊き出し訓練をしている。食材、飲料水の備蓄もしている。今後地域の方の協力を得られるようになればもっと良いと思う。	年2回の避難訓練をし、ライフラインの止まったことを想定した、庭での薪による炊き出し訓練が行われた。管理者はディズニーランドの災害訓練を参考に、ホームとしての優先順位を職員と共有することに取り組もうとしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合った対応、声掛けを心がけており、尊厳を損なわないよう、日頃から気を付けて対応している。	一人ひとりを尊重し、自立心を大切にしている。声掛けの時は優しくことばを選びさりげなく目立たずの実践をしている。言葉のトーンによる利用者の心の動揺や不穏にならないための配慮がされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の意思が表しやすいような声掛けを心がけて、普段の何気ない会話の中からやりたい事を話してもらえるよう工夫している。現在、希望を受けて編み物、書道、園芸などを個別で行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせて過ごせるような声掛けを心がけ、ご本人の気持ちに添った援助を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝その日に着る洋服を選んで頂いている。お一人では難しい方には季節に合った洋服が選べるように援助している。お化粧品を楽しんでいる方もいる。また、訪問美容室を利用して日頃から身だしなみには気を付けている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お誕生日にはご本人が希望されるメニューを作ったり、自ら畑で収穫したものをお料理に使ったりしている。できる方には積極的にお手伝いして頂き、可能な限り配膳下膳、食事時の挨拶などをお願いしている。	食事は献立を決めず、職員がその日の希望で調理し個性のある料理を楽しんでいる。広い畑の無農薬野菜が一年中収穫できる。利用者は作ってくださった方に感謝の気持ちを言葉にさせていただきますの挨拶をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事、水分量をチェックし、こまめな水分摂取を心がけている。食事は個人に応じて形状を変えており、必要な方にはミキサー食も対応している。食材には畑でとれる新鮮な野菜や地元食材を使用するように心がけている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日の口腔ケアは欠かさず全員行っている他、週1回歯科往診があり、急な症状にも対応して頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	お一人おひとりに合わせたトイレ誘導を行っており、その際にはプライバシーにも配慮できるよう心がけている。	一人ひとりに合わせ声掛けも誘導もそつと行う気配りをしている。プライバシーを守り自尊心に配慮している。失敗した時の不快感や羞恥心に配慮してさりげなく素早く対応している。職員はポケットにいつもパットを忍ばせている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	気候が良い時は毎日の散歩、室内運動などにも積極的に取り組み、運動不足にならないように心がけている他、水分摂取や食事内容で自然に排泄できるように促している。必要な場合には下剤の使用も行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	冬季隔日、夏季は毎日入浴があり、入浴の際には事前に体温血圧のチェックを欠かさず行っている。	広いお風呂場に浴槽が二つ置かれ、夏は毎日、冬場は一日おきの入浴ができる。ヒートショック対策や入浴前のバイタルチェックで安全安心が図られている。入浴出来ない時は足浴や手浴を取り入れ温まり、安眠に繋がっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	穏やかな眠りを誘うように、日中の日光浴と適度な運動を行っている。寝具類もこまめに交換し、天日に干して快適な入眠を心がけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人別に服薬管理の為にファイルを作成し、配薬は看護師が対応している。かかりつけ薬剤師がおり、日頃から薬に関する相談をしている他、注意点などを職員で共有するように徹底している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	全員で行うレクの他に編み物や書道など、一人ひとりに合わせた活動を支援している。また希望者は図書館へ本を借りに行くなど、外出を兼ねた活動も好評である。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気候や天候に合わせて個別で外出する事が多く、少人数での外出、外出を行っている。上記にも記載したように、希望者は定期的に図書館へ出かけるなど日常的に外出できるよう支援している。	花の季節になると中庭のベンチで外気浴が日課になっている。外出は少人数での外食や買い物支援している。4月に靖国神社へのバス旅行が、市の連絡会で企画され、ホームの皆さんが揃って行く旅行を今から楽しみにしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に個人の買い物はホームが立替払いをしているが、外出時にはご本人に買いたいものをお金を渡して支払いしてもらうような機会を作っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎年年賀状を書いている他、定期的にお手紙を書いたり、友人やご家族からの電話はご本人に取り次ぎ、お話をしてもらっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に季節行事の飾りをしたり、ホームで栽培した生花を飾って季節感を感じて貰えるように工夫している。また、匂いやトイレの汚れ等に特に気を付けており、小まめにチェックして心地よく使用できるように配慮している。	ホームそのものが快適な居心地良い住まいで、我が家にいるようなゆったりした穏やかな笑顔の方が多い。昨年咲いた談話室のアマリリスが今年も入居者の丹精で咲き、気心の知れたかたが寄り添い花の手入れのお話をしたりしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホーム内2箇所ずつ設置された談話コーナーで思い思いに過ごしている事が多い。談話コーナーは中庭に面して採光が取れるように設計されており、自然光に当たりながら1人でもゆっくりとくつろげるように工夫されている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や思い出の品を持ってきて頂いたり、写真を飾るなどして個人の部屋として飾りつけをしている。希望に応じて仏壇を持参されている方もいる。	お部屋が広く、自分の好みの調度品や家具が置かれ、居心地良い、安心のできる部屋になっている。仏壇に庭で摘んだ花を供え穏やかに過ごしている方もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーになっており、廊下やトイレ、浴室、脱衣室には手すりが付いている為、自立歩行ができるようになっている。また、個人に応じて居室やトイレに目印を付ける等自立した暮らしが送れるように工夫している。		